

「ぶらんこ復活」授業案

授業の目標

- ①自分たちでルールをつくろう
- ②ルールを作るときに大切な視点
- ③出来上がったルールを検証しよう

段階	主な発問・学習活動 児童から予想される発言	指導上の留意点
導入 (5分)	○『私たちの道徳』120ページ、121ページの資料を見て)身の回りにどんなきまりがありますか	・学校や地域では、いろいろなきまりがあることを簡単に確認して、展開につなげる
展開1 (15分)	<p>「ぶらんこ復活」の122ページ9行目まで(「・・・まだ、心配です。」)を読んで</p> <p>◎恵さんの気持ちを考えてみよう</p> <p>○恵さんはどんな気持ちになりましたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく遊びたい! <p>○校長先生はどんな気持ちになりましたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に遊ばせたい <p>→どうしたらよいのだろうか(さくを作ったけれどそれだけで大丈夫かな)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さくを気にしない、無視する人もでてくる <p>→ルールが必要だ</p> <p>◎ルールは誰が決めるのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生が決めていい <p>→先生が理不尽なルールを決めてもよいだろうか</p> <p style="padding-left: 40px;">例 放課後の5分だけ、先生がいるので、その時だけ使用可</p> <p>→先生がいなくても“安全”にできるルールが必要だ</p>	<p>・どのような状況か共通理解を得た上で発問をする</p> <p>・ルールの必要性に気付くように誘導していく</p> <p>・教師側(教師が決めた)の決めた理不尽なルールを提示するが、それぞれの学校の事情に即した理不尽なルールでよい</p>
展開2 (20分)	<p>「ぶらんこ復活」の残りの部分(122ページ10行目から123ページ)を読んで</p> <p>◎ぶらんこを復活させるためのルールをつくろう</p> <p>けがをしないでみんなで楽しく遊ぶには、どういうルールにしていけばよいのでしょうか</p>	<p>・ルール作りの目的をしっかり押さえた上で、以下の発問等で、児童にルール作りをしていってもら</p> <p>・ルールの中には、「けがをしない」(危険防止)のためのものと、「みんなで楽しく遊ぶ」(公正・平等)のためのものがあることを理解してもら</p> <p>・罰則のルールが提案されたら、目的に立ち返って、そのようなルールが果たして必要かどうかを考</p>

<p>まとめ (5分)</p>	<p>「みんなでルールを作りましたね。では、そのルールを本当に守れるかな？」</p> <p>○学校生活や学級、地域のことを振り返って、どのようなルール(きまり)があるのか、どうしてそのようなルール(きまり)があるのだろうか</p> <p>例 廊下は走らずに歩く(けがをしないため) 遊具の使い方、しまい方(継続的にみんなが使える(楽しく遊べる)ようにするため)</p> <p>◎(まとめとして) ルールというものは、みんなが安全に生活したり、楽しく遊ぶことにつながっている</p>	<p>えてもらう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上のことから、ルールを作っていくときに、どう いう点に中止しなければならないのかを理解してもら う ・ルールの内容を検証していくことで、ルールを決 める際に、ルールが適正で守られルールでなけれ ばならないことを理解してもら
---------------------	--	---